

平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

- ・希望ヶ丘南地区と、希望ヶ丘地区から成り立つ地域です。両地区とも地域の方々は積極的に地域活動に取り組み、課題について自ら解決しようとする姿勢が根付いている地域です。
- ・世代間同居や近距離に家族が居住している世帯も多く、子育て、介護等については家族間での協力体制が比較的多くあります。また、近隣の住民間での共助もなされており、顔の見える関係づくりを積極的に行っておられます。
- ・両地区共通の課題として、介護予防やボランティア活動の担い手の不足があげられます。
- ・また、住み慣れた地域で障害がある家族が地域社会に溶け込んで生活できることを希望しているという声もあります。
- ・地域ケアプラザが福祉活動の拠点となり、また総合相談窓口として広く地域住民に認知されるよう活動をしていきます。

(1)相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・地域の身近な総合相談窓口として、高齢・子ども・障害問わずあらゆる方からの相談を受け、また業務や地域住民とのつながりの中で把握した情報を受け止め、適切な支援に繋げてきます。必要に応じて区役所や関係機関につなぎ連携して支援を行います。
- ・子どもの相談については、区の子ども家庭支援課の地区担当と連携し、障害の相談については、区の障害者支援担当のケースワーカーや旭区基幹相談支援センターと連携して支援を行います。
- ・地域の会議や関係機関の会議、ケアプラザ新聞を通じて、ケアプラザが身近な子育て・障害分野の相談窓口であることを広く周知します。
- ・相談の内容に応じて、福祉サービスやインフォーマルサービスの情報提供を行います。
- ・適切に支援につなげ、相談から抽出した課題に対して、課題解決につながるよう事業の実施を行います。
- ・職種、部門を限定しない幅広い「総合相談・支援」を実施し、地域活動交流と地域包括支援センターが連携し、情報共有を行います。
- ・障害分野の相談については、障害分野の研修に積極的に参加し、制度や様々な障害特性を理解し、あらゆる方の相談対応ができるよう努めます。

(2) 各事業の連携

- ・各部門が把握した課題に対して情報を共有し、5職種連携して課題解決に向けた地域支援を行います。
- ・ケアプラザで取り組む事業を各部門で確認しながら、地域への周知や運営の協力などに努め、課題や目標を共有していきます。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・横浜市の配置基準を満たす適正な人員配置を致します。
- ・年間を通じて内部研修計画を立てケアプラザ職員として必要な知識を深めます。
- ・福祉施設職員として適切なコンプライアンスを備えた人材の育成に努めます。
- ・ケアプラザ職員として、公正・中立な立場で職務につくように相互チェックを実施しその確保に努めます。外部研修への参加を積極的に促し内容を部門間で共有いたします。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・地域の各種団体の定期会合や行事に積極的に出向き、地域の状況把握に努めます。また身近な相談機関として、各種団体の地域福祉活動に対し積極的に関わり、支援を行います。
- ・支えあい連絡会では、地域住民と行政と連携し協働で、第3期地域福祉保健計画の地区別計画の推進に取り組みます。
- ・希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会共催事業「きぼうファーム」を通じて、両地区間のさらなるネットワークの構築と保護者の方のネットワークの構築に努めます。
- ・旭区自立支援協議会のメンバーとして、障害分野でのさらなるネットワークの構築に努めます。各団体や事業所との情報交換を積極的にかつ継続的に行い、課題の共有を行い、地域での課題解決に向けたネットワークの強化を行います。また地域の各種団体と事業所との顔の見える関係づくりにケアプラザが積極的に関わり、地域での障害福祉のネットワークづくりに取り組みます。
- ・つながろうプロジェクト南希 CP エリア地域連絡会を今年度も開催し、地域の障害事業所と地域とのネットワークの強化に努めます。
- ・ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業において、ひとり暮らし高齢者の情報を民生委員、区役所と共有し、支援を必要とする人を効果的に把握し、相談支援や地域における見守り活動へ連携していけるよう努めます。
- ・認知症になっても安心してらせるまちをめざし、地域で何かできることはないかを考える「きぼうタウンプロジェクト」を通じ、連合をこえた地域包括支援センターエリア内の各地域住民や各団体、事業所、医療関係者などがプロジェクトチームに参加することで、地域での認知症に関する課題解決にむけた取り組みのネットワークづくりに努めます。

(5) 区行政との協働

- ・子育て支援事業において、こども家庭支援課や健康づくり係等と連携し協働して子育て支援に努めます。
- ・支えあい連絡会では、支援チームのメンバーとして区や区社協と連携し地域課題の把握や情報提供に努め、第3期地域福祉保健計画の地区別計画推進に向けて協働して取り組みます。
- ・障害者支援において、担当のケースワーカーと情報共有を行い連携して個別支援を行います。
- ・運営方針の遂行、包括的継続的ケアマネジメント支援、地域アセスメントに基づく地域支援を区行政と協働して行います。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・昨年度から開催している Dandy Kitchen～ふれあい子ども食堂～を今年度も開催し、引き続き地域の子どもの居場所支援・学習支援・孤食支援を行います。また、今年度より長期休暇時の日中にも開催し、地域の子どもたちの長期休暇の居場所支援、食事の支援、宿題の支援を行います。
- ・子育てサロン mam・mam をはじめとして、子育て支援事業の充実を図り、子育て世代への支援とケアプラザの機能の周知に努めます。
- ・自主企画事業を通じて、地域の定年退職後の男性の仲間づくりや地域活動の参加のきっかけになるよう、地域の男性を対象にした「ダンディパティシエ」を継続して実施し、事業の活動の一環として、福祉保健活動を行います。
- ・昨年度より地域で立ち上がった障害児者支援事業「きぼうファーム」の事業の内容の充実と、住民主体の地域に長く根付く事業となるよう、後方支援を行います。
- ・すべての自主企画事業において、障害児者の参加を積極的に受け入れ、地域のあらゆる人が参加できるように事業を実施します。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・登録団体説明会や年末大掃除会の中で、ケアプラザ利用に対する率直なご意見を伺う時間を設け、福祉保健活動団体等からいただいたご意見やご要望については、所内会議で検討し、よりご利用しやすい環境整備と適切な管理に努めます。
- ・緊急時の避難経路や館内の消火器の設置場所についての説明を行い、緊急時の対応について周知を行います。
- ・館内と外の掲示板にて、2か月分の貸室予約状況をカレンダー形式で掲示をし、貸室の予約状況についての情報提供を行います。
- ・登録団体が福祉保健活動に積極的に参加できるよう、ケアプラザの自主事業でのボランティア活動や地域活動につながるよう情報提供を行い、活動の場のコーディネートを行います。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ケアプラザの事業からボランティア活動につながるような仕組みを作り、ボランティアの育成に努めます。
- ・ケアプラザ新聞を通じて、ボランティア活動の情報提供を行います。
- ・登録団体や地域の団体に対して、ケアプラザの自主事業やデイサービス慰問などでのボランティア活動の場の提供を行い、ボランティア育成に努めます。
- ・よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会を行い、65歳以上の地域の方のボランティア活動の支援を行います。
- ・ジュニアボランティアへの福祉教育や活動の場の提供を行います。
- ・旭区ボランティアセンターと連携をし、ボランティア希望者への活動のコーディネートを行います。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・自治会や各種福祉保健活動団体の定期会合や行事に積極的に足を運び、情報収集を行い地域の状況把握や課題把握に努め、5職種で情報の共有を図り、必要に応じて支援チーム会議等に情報提供を行います。
- ・地域における福祉保健活動団体や社会資源を把握し、情報提供を行います。
- ・ケアプラザの設置目的や機能、ケアプラザでの事業などの周知活動に努めます。
- ・地域課題解決のための情報提供を行います。
- ・施設利用団体の活動紹介を掲示し広く情報提供を行います。また登録団体説明会や年末大掃除会の中で、利用団体の交流会を行い、情報交換や交流の場を設けます。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・昨年度、認知症になっても安心してらせるまちをめざし、「希望タウンプロジェクト」を今後も継続して行い、5職種とケアプラザ内のケアマネジャー、旭区役所、旭区社協とも連携し、地域の方とともに地域課題の解決に取り組めます。認知症についてプロジェクトメンバーで勉強し、話し合いながら、最初の取り組みとして、認知症の方とその家族の方の居場所、活躍の場、また早期発見のきっかけの場となるような「認知症カフェ」の開設を目指します。
- ・昨年同様、地域の活動を紹介するとともに、生活支援体制整備事業の取組をケアプラザ新聞などで広く周知していきます。
- ・第1層コーディネーターが主催する勉強会や旭区生活支援コーディネーター連絡会に積極的に参加し、生活支援体制整備事業推進のためのノウハウを把握し、地域へ分かりやすく、周知できるよう努めます。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・昨年度の相談内容に、希望が丘地区の地域の方から、家に閉じこもりがちで外に出るきっかけがないというものが3件ほどありました。希望が丘地区は老人会も少なく、集いの場所となる会館なども少ない地域です。また、運動は苦手という意見もあり、気軽に通える集いの場を希望が丘地区で立上げ可能か検討していきます。
- ・希望が丘南地区の中の、駅から遠く、まわりには買い物する所が乏しい地域で、買い物に関するアンケートをその地域の2つの老人会で実施し、買い物事情の現状を把握します。エリア内の他の地域に野菜の移動販売に来ている業者とマッチングできないかを検討していきます。
- ・地域住民主体、地域の事業所、市内の事業所などで生活支援に関するサービスを提

供している団体を広く把握し、リスト等にまとめます。

・地域にある高齢者の活動の場（老人会や元気づくりステーション）を継続・維持できるように連絡会などを開催し、支援を行うとともに、このような活動場所がインフォーマルサービスとしてケアマネジメント等に活用されるようサービス一覧パンフレットの作成に努めます。

・今ある介護予防の場の維持と介護予防推進の担い手として、スクエアステップリーダーを育成し、ボランティア団体としての活動を支援します。希望が丘地区に社会参加による介護予防の場の創出をボランティアと共に進めていけるよう検討していきます。また、地域の方の集いの場の活動支援や外に出るのが困難な方への訪問支援として音楽ボランティアをたちあげ、活動の支援を行います。ボランティアとして活動することで自身のやりがいや介護予防にもつなげていけるよう努めます。

(3) 連携・協議の場

・希望が丘地区、希望が丘南地区のささえあい連絡会に支援チームとして参加し、地域との方と目指す地域像を共有していきます。

・エリア内住民に対してボランティア講座を開催し、介護予防、社会参加にかかる活動、地域支援の創出に向けた働きかけを行い、ボランティア団体をたちあげます。

・高齢者の活動の場（老人会・元気づくりステーションなど）の会継続の課題、担い手の発掘などのさまざまな課題の解決のヒントとなるよう連絡会を開催し、高齢者の社会参加の機会の継続・発展などに向けた働きかけを行います。

・認知症になっても安心して暮らせるまちづくりをめざし、「きぼうタウンプロジェクト」の中で、地域で何ができるかを考え、話し合い、関係者間で共有しながら、課題解決に向けた取り組みを連携して行います。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

・第1層のコーディネーターが中心となり開催する3つの連絡会（食事、ささえあい、サロン）のいずれかに所属し、旭区内第2層生活支援コーディネーターとともに課題解決に向けての取り組みを行っていきます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

・相談に関することを総合的に受け止め、相談内容を理解し、的確に把握します。

・相談内容に応じて情報を提供していき、関係機関等に繋がります。

・相談のみにとどまることなく、必要に応じ継続的にフォローしていきます。

・相談者の困っていることを受容し、速やかに支援できるように心がけます。

②実態把握

- ・ 個別の相談から見えるニーズやデマンド、相談内容を分析することで、新しいネットワークの開拓に努めます。
- ・ 相談内容の分析から、自宅で過ごす時間が長い高齢者が多いことが分かり、閉じこもりの防止及びボランティア育成を兼ねた「ミニデイサービス（ミデイ）」を継続します。既存のメンバーだけではなく、今年度も新規メンバーを募って支援の輪を広げていきます。
- ・ 介護することへの不安、不満、悩みを解消するために「介護者の集い」をケアプラザ協力医にも毎回協力していただき、継続していきます。既存のメンバーだけではなく、今年度も新規メンバーを募って支援の輪を広げていきます。

③総合相談支援

- ・ 各種統計資料等から圏域の情報を収集していきます。
- ・ 相談や関係機関からの情報収集などにより、高齢者の個別ニーズや圏域のニーズ、インフォーマルサービス等を把握します。
- ・ 出張講座や地域包括支援センター事業実施後にアンケート調査を実施し高齢者の個別ニーズ、圏域の実態を把握します。
- ・ 日頃からケアプラザに来所される方とのコミュニケーションを大切にしていき、困りごと、近隣の方で困っている方の実態を把握します。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ 成年後見制度をはじめ、権利擁護事業や消費者保護など関連する法制度を理解し、それに基づく相談への的確な見立てにより、区役所・区社協等担当部署へつなぐ等適切な支援を行います。
- ・ エンディングノートや成年後見制度等の講演会を旭区社会福祉協議会や区内の社会福祉士と共催にて実施していき、未来に向けての普及啓発に取り組めます。
- ・ 区長申立が必要な事例について、アセスメントに基づき、区役所等につなげます。
- ・ 親族申立支援にあたり家庭裁判所への手続きに関して適切なアドバイスをします。
- ・ 親族申立支援にあたり、第三者後見人が必要な場合に適切なアドバイスをします。
- ・ 消費者被害講演会を開催していきます。また、区内地域包括支援センターと協働で街頭キャンペーンを実施し、普及啓発活動に努めます。
- ・ 老い支度シリーズを実施していき、終活のみならず、自分史についてや在宅や施設で暮らすために考える講座、遺言や相続についての講座や講演会を開催していきます。

②高齢者虐待への対応

- ・ 虐待事例に対し、区と支援の方向性を共有し、区との役割分担に基づき対応し、適切な支援につなげます。
- ・ 各種機関からの情報収集や啓発活動などにより、早期発見に努めます。
- ・ 介護者支援に積極的に取り組んでいきます。
- ・ 「介護者の集い」を（奇数月に）開催し、虐待の恐れのある介護者を会への参加につなげ、協力医の参加により専門的なアドバイスもいただき、虐待防止に取り組んで

いきます。

- ・区内版高齢者虐待対応フォロー図を今年度も改めてケアマネジャーにも周知し、いつでも閲覧できる所に置き活用していきます。
- ・旭区福祉分科会での研修を通じて虐待に対しての意識を向上していき、研修を通じて現場における研鑽に努めていきます。
- ・人権についての内部研修を実施していき、日頃何気なくしている言動や行動を見直し、気付いていくことを研鑽していきます。
- ・総合相談においても、虐待のおそれがあるケースをすぐに気づけるように相談者の心理や言動、しぐさに気づける洞察力を高めていきます。

③認知症

- ・地域住民を対象に「認知症サポーター養成講座」と「認知症について考える 2017」を実施します。また、小学生を対象に夏休みを利用したジュニアボランティア講座にて認知症についての普及啓発を行っていきます。
- ・「認知症をみんなで支えるまちづくり検討会」において、関係機関のみならず、地域とのネットワークづくりにむけた連携を図っていきます。
- ・旭区の SOS ネットワークシステムを紹介していき、登録手続きをサポートし、地域包括支援センターエリア内での徘徊高齢者検索のネットワーク構築に努めます。
- ・生活支援コーディネーターと地域包括支援センターが協力して「認知症カフェ」を南希望が丘、中希望が丘にて開催できるように後方支援していきます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・インフォーマルサービス等の情報収集の更新、整理に努め、地域住民に対し情報提供を行います。
- ・生活支援コーディネーターと連携して「認知症になっても安心して暮らせるまち（きぼうタウン）をめざして」プロジェクトで立ち上がる「認知症カフェ」の支援に向けた地域住民、関係機関等との連携を行っていきます。
- ・地区の民生委員や見守りの会等の会に参加し、地域での見守りネットワーク事業に積極的に関わっていきます。
- ・ひとり暮らし高齢者見守り事業を地区の民生委員、区役所と協働し、実態把握に努めていきます。

②医療・介護の連携推進支援

- ・ケアマネジャーと医療機関等とのネットワークの構築のための取組み（情報交換会等）を行います。
- ・ブロック毎のケアマネジャー事業所連絡会にて、エリア内の医師等を招きケアマネジャーとの連携を目的にネットワーク構築のための取組みを行います。
- ・エリア内の医療機関を個別に訪問し、顔の見える関係を構築していきます。
- ・医師、地域包括支援センターとの連絡票などを活用して、近隣医師との連携に努めていきます。また、エリア内の医師との連絡会「南希望が丘地域医療連絡会」を継続していきます。
- ・毎月、ケアプラザの広報誌を持参し、医療機関、薬局等を訪問し連携を図っていきます。
- ・施設協力医には「介護者の集い」に参加してもらい、適宜話し合いをもって、連携に努めていきます。

③ ケアマネジャー支援

- ・ ケアマネジャーへの以下の支援体制を構築していきます。
 - ① 相談への支援
 - ② 事例検討など研修会等の開催
 - ③ 新任、就労予定ケアマネジャーに対する研修等の実施
 - ④ サービス担当者会議の開催支援及びスーパーバイズ
 - ⑤ 支援困難事例、緊急対応時等の支援
 - ⑥ 区ケアマネジャー連絡会への支援
- ・ 毎月、地域包括支援センターとケアマネジャーとの連絡会、ケースカンファレンス等を開催します。
- ・ 地域包括支援センターエリア内の連絡会、研修会、交流会を実施します。
- ・ 3地域包括支援センター（南希望が丘、今宿、万騎が原）共催で年4回、研修会、事例検討会を行い、連携を図っていきます。
- ・ 旭区内地域包括支援センター主任ケアマネジャーと区役所と共催で年2回、新任、就労予定ケアマネジャー研修を開催、施設見学や個別実習の受け入れ等を行います。
- ・ 適宜ケアマネジャー相談支援、支援困難事例の相談支援、カンファレンスの開催等を行っていきます。
- ・ エリアの民生委員とケアマネジャーとの交流会を実施し、双方の関係づくりの支援を行います。

（4）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・ 地域の関係機関などの相互の連携を高め、ネットワークを構築していけるよう、地域住民、民生委員、地域の医師、医療・介護関係者など、多職種と協働し、事例を通して個別ケースの支援内容を多角的に検討し、課題解決を支援していけるよう個別ケース地域ケア会議を開催します。
- ・ また、個別ケース地域ケア会議で抽出された課題や地域アセスメントからの地域課題などを関係者間で共有し検討する、包括圏域地域ケア会議を年2回開催します。

（5）介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ 要支援者の主体性、意欲を引き出し、目的指向型の介護予防ケアマネジメントを行います。
- ・ 委託を行う場合はケアマネジャーとの連携、適切なケアマネジメント支援に対しての関わりを積極的に行います。
- ・ 地域包括支援センターエリア内、ブロック毎等での研修会や勉強会を実施していきます。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

・平成 25 年度に立ち上った横浜市介護予防事業「元気づくりステーション 南希の森」、平成 27 年度に立ち上った「元気づくりステーション ヒルズのわ」に引き続き、平成 28 年度立ち上った「元気づくりステーション ホープの友」を引き続き支援していきます。平成 29 年度は、新しく「元気づくりステーション健康麻雀の会（仮名称）」の立ち上げを目指します。中地区の老人会・青葉会より、男性の引きこもり対策として支援してほしいとの依頼を受けており、老人会と協働し住民運営の通いの場を充実させていきたいと考えています。

・平成 29 年度介護予防教室は、昨年度ケアプラザまで歩いて来るのが難しいという声に応じて 6 老人会の協力を得て老人会を回り、ロコモ予防 3 種類（体操・栄養改善・口腔機能向上）の教室を開催します。南希望が丘地域ケアプラザと 6 ケ所の老人会で開催することにより、身近な場所で 3 種類の教室に参加していただき、多方面からロコモ予防を学んでいただけるよう取り組みます。体操では、横浜市が推奨している「ハマトレ」を実施します。栄養改善・口腔機能向上の教室でも「ハマトレ・体験版」を実施し、体操教室への参加を促していきます。3 月には、スタンプラリーで 3 種目参加された方を表彰する予定です。

・地域の身近な相談役として、ケアプラザの機能を活かし、区と協働し地域の介護予防活動の充実のために後方支援を行っていきます。

・平成 25 年度に立ち上げた介護予防に資するボランティアグループ「シニアサポーターひまわり」の育成と拡大を目指し、スキルアップのための学習会や講座の開催、ふらっとサロンでの活動などを企画し、地域に根付く団体となれるよう継続支援していきます。

・介護予防、日常生活支援総合事業において、地域のアセスメントをもとに、インフォーマルサービスや資源の把握を継続して行い、地域資源として活用できるよう広報活動を行っていきます。

その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・施設管理者として公の施設を効率的かつ公平、公正に管理いたします。
- ・施設利用に関して、地域ケアプラザとして適正に利用していただけるように利用者の方に丁寧に説明にあたります。
- ・設備の保守管理に関して、日常的な点検を施設管理者により実施します。
- ・設備の一部に関しては専門の業者と保守管理契約を結び適切な管理を行います。
- ・植栽の管理については専門の業者を管理契約を結び緑の維持、管理を行います。

イ 効率的な運営への取組について

- ・法人内のメールシステムを活用し、情報の伝達がスムーズにいくように努めます。
- ・労務、経費の事務処理については法人本部担当職員と連携をとり、業務の効率化に努めます。
- ・適正な職員配置をし、業務の効率化を図りサービスの安定に努めます。
- ・水光熱費の節約に努め無駄なエネルギー費の削減に努めます。

ウ 苦情受付体制について

- ・ご意見ダイヤルの利用に関する情報を各階に掲示します。
- ・苦情解決の担当、解決責任者、対応の流れを明確にして館内に掲示します。
- ・第三者委員会の設置を明確にして掲示します。
- ・苦情に対す対応を記録に残し、改善への取り組みを行います。
- ・利用者アンケートや登録団体説明会などでいただいたご意見、ご要望については対応策を明確にし、ケアプラザ新聞に広く利用者や地域の方々に公表します。
- ・苦情等を申し立てたことにより、その団体、個人に一切不当な取り扱いは致しません。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・緊急時マニュアル、防災マニュアルを整備します。
- ・緊急連絡網を事務所に掲示します。
- ・機械警備により防犯業務を実施します。発報時並びに入館、退館時の記録を残します。
- ・機械警備のセキュリティーキーは管理台帳で管理者を明確にして管理します。
- ・日常の館内点検を実施し記録に残します。
- ・来館される方には挨拶、お声掛けを行い館内の様子を把握します。
- ・朝礼時に館の一日の使用予定を共有します。

オ 事故防止への取組について

- ・日常設備点検、車両点検を実施し整備不良による事故を防止します。
- ・事故、並びにリスクの高いと思われる事柄については法人にリスクマネジメント委員会にて情報を共有し再発防止、事故防止に努めます。
- ・労働安全衛生、健康管理を徹底し労働災害発生防止に努めます。
- ・事故発生時はマニュアルに沿って適切な対応をします。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・職員に個人情報保護に関する研修を実施します。
- ・個人情報取扱業務一覧に基づき、適切に個人情報を取り扱います。
- ・介護予防支援事業、居宅介護支援事業、通所介護事業の利用契約時には個人情報使用について説明し同意を得ます。
- ・個人情報保護のマニュアル整備と確認だけでなく、情報の種類と適切な取り扱いまで深く学び、ケアプラザ職員として資質の向上に努めます。

キ 情報公開への取組について

- ・法人の事業計画書、事業報告書、予算書、決算書を窓口に設置します。
- ・毎月の広報誌、掲示板を利用し新たな事業情報を公開します。また、横浜市からの掲示依頼物は速やかに館内掲示板に掲示します。
- ・ケアプラザ利用者からの情報公開の請求には、横浜市南希望が丘地域ケアプラザ情報公開規定に基づき適切に対応します。
- ・介護予防支援事業利用者、通所介護事業利用者、居宅介護支援事業利用者の記録の開示請求には各契約に基づき適切に対応します。

ク 人権啓発への取組について

- ・ケアプラザ職員に対して内部研修で人権擁護の内容で研修を行います。
- ・地域の住民の方を対象とし、各部門で講座の開催を行います。「消費者被害」「虐待」「障害」についてなどを予定しています。講座によっては当事者向け、地域住民向けと分けることを予定しており、地域全体の人権啓発に繋がるように企画いたします。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ごみの処分に関してはヨコハマ3R夢活動を推進し、マニフェストに沿ってゴミの処分を実施します。
- ・古紙の処分はリサイクルに出し資源の再生に努めます。
- ・スマートクロックを使用することで、消費電力を可視化し無駄な電力の削減に努めます。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 保健師等	1名（常勤兼務）
主任ケアマネジャー	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤兼務）

《目標》

- ・要支援1・2と認定された地域の高齢者に対し、介護予防ケアプランを作成します。
- ・今後の介護予防事業の動向を踏まえ、新たな視点から、自立支援に向けたケアプランの作成を行います。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合、その交通費（実費）を徴収します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・介護予防支援対象者へのスムーズな介護予防プランの提案、サービス提供が行えるように支援体制を強化します。介護予防サービスが円滑に提供できるよう、関係機関やインフォーマル活動団体の把握や関係づくりを行っていきます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
186	188	191	195	197	198
10月	11月	12月	1月	2月	3月
199	200	203	206	210	214

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1 名（常勤兼務）
 介護支援専門員 4 名（常勤兼務 1 名、常勤専従 3 名）

《目標》

・ケアプラザ併設の居宅介護支援事業所として、地域の方の心の支えとなり頼れる事業所を目指します。地域の方が生き生きと暮らせる地域社会づくりに貢献していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

・通常のサービス地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合の交通費を徴収します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

・毎日のミーティング、毎月のケースカンファレンスを通して、ケアマネジャー間での情報共有を行い適切なケアマネジメントに努めていきます。
 ・地域包括支援センターとのカンファレンスの実施や、地域ケア会議への参加を通し、困難事例についての対応や地域における支援の状況における情報共有を行っていきます。
 ・ケアマネジャー連絡会や研修会・勉強会に積極的に参加すると共に、職員への研修の実施も行い、専門性の強化に努めていきます。
 ・リスクマネジメント（個人情報保護・苦情対応・接遇）についての意識を強化し、事故の未然防止を目指します。
 ・コンプライアンスの徹底のため定期的なケースチェックを行い、帳票類の整備を行うと共に、公正中立を踏まえたサービス提供を行っていきます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
予防 21 介護 140	予防 22 介護 142	予防 23 介護 144	予防 24 介護 146	予防 25 介護 148	予防 26 介護 150
10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防 27 介護 152	予防 28 介護 154	予防 29 介護 156	予防 30 介護 158	予防 31 介護 160	予防 32 介護 162

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- 送迎
- 個別機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分		
（要介護1）	692	円
（要介護2）	817	円
（要介護3）	947	円
（要介護4）	1077	円
（要介護5）	1266	円
● 食費負担	650	円
● 入浴	54	円
● 機能訓練Ⅱ	60	円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》

- ・ 管理者 1名
- ・ 生活相談員 3名
- ・ 看護師 3名
- ・ 介護職員 13名
- ・ 機能訓練指導員 1名

《目標》

日々多様化するニーズに対し、地域・医療・介護が連携し、在宅生活の支えとなるサービスを目指します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

活動支援プログラムはご利用者が選んで参加して頂けます。また、年間を通して季節の行事やイベントを行い楽しんで頂く事で生活意欲と身体機能の向上・維持に取り組んで頂ける様にします。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
840	899	840	899	899	840
10月	11月	12月	1月	2月	3月
899	870	899	784	784	899

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 送迎
- 食事

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 1072 円
 - （要介護2） 1188 円
 - （要介護3） 1305 円
 - （要介護4） 1422 円
 - （要介護5） 1539 円
- 食費負担 650 円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9 : 40 ~ 16 : 45

《職員体制》

- ・ 管理者 1名
- ・ 生活相談員 3名
- ・ 看護師 2名
- ・ 介護職員 13名

《目標》

日々多様化するニーズに対し、地域・医療・介護が連携し、在宅生活の支えとなるデイサービスを目指します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご利用者の状態、その方の症状に合わせた対応をおこない落ち着いてゆったりと過ごして頂きます。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
120	124	120	124	124	120
10月	11月	12月	1月	2月	3月
124	120	124	112	112	124

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 送迎
- 食事
- 機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（事業対象者）	1 8 6 9	円
（要支援1）	1 8 6 9	円
（要支援2）	3 8 3 3	円
- 食費負担

	6 5 0	
--	-------	--

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9 : 40 ~ 9 : 45

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名
看護師	3名
介護職員	13名

《目標》

地域の中での交流の場とし他者と関わりを持ち、楽しみや生活意欲向上に繋がるようサービスを提供します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

多種多彩なイベントや近隣の小学生・中学生との交流などで楽しんで頂いたり体や頭を使うプログラムで身体機能の維持・向上出来るサービスを提供します。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
18	18	18	18	18	18
10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	20	20	20	20	20

● 介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 送迎
- 食事

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（事業対象者）	9 2 7	円
（要支援1）	9 2 7	円
（要支援2）	1 0 3 6	円
- 食費負担

	6 5 0	円
--	-------	---

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9 : 40 ~ 16 : 45

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名
看護師	2名
介護職員	13名

《目標》

地域の中の交流の場とし他者との関わりをもつ事で楽しみや生活意欲向上に繋がるようにサービスを提供します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

要支援1・2の認定を受けている方で認知症と診断を受けたご利用者に対して

認知症の進行を予防するにも効果的なプログラムを個別に提供します。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	1	1	1	1	1
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	1	1	1	1	1

平成29年度 「(南希望ヶ丘地域CP 地域交流)」 収支予算書及び報告書(一般会計)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,217,725	0	18,217,725		18,217,725	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入			0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料収入	0	0	0	0	0	
その他(施設使用料相当額)	0	0	0	0	0	第3期の指定管理施設のみ
その他(法人負担分)	0	0	0	0	0	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	18,217,725	0	18,217,725	0	18,217,725	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,419,000	0	9,419,000	0	9,419,000	
本俸	5,063,000		5,063,000	0	5,063,000	
社会保険料	891,000		891,000	0	891,000	
手当計	2,052,000		2,052,000	0	2,052,000	
健康診断費	89,000		89,000	0	89,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額	10,000		10,000	0	10,000	
その他	1,314,000		1,314,000	0	1,314,000	
事務費	3,008,572	0	3,008,572	0	3,008,572	
旅費	31,000		31,000	0	31,000	
消耗品費	182,000		182,000	0	182,000	
会議ठीい費	0		0	0	0	
印刷製本費	24,000		24,000	0	24,000	
通信費	576,000		576,000	0	576,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	271,000		271,000	0	271,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	111,000		111,000	0	111,000	
振込手数料	7,000		7,000	0	7,000	
リース料	450,000		450,000	0	450,000	
手数料	10,000		10,000	0	10,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	1,346,572		1,346,572	0	1,346,572	
事業費	913,200	0	913,200	0	913,200	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	指定額
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	871,200		871,200	0	871,200	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	4,123,433	0	4,123,433	0	4,123,433	
建築物・建築設備点検	228,404		228,404	0	228,404	指定額
光熱水費	1,680,000	0	1,680,000	0	1,680,000	
電気料金	1,400,000		1,400,000		1,400,000	
ガス料金	40,000		40,000		40,000	
水道料金	240,000		240,000		240,000	
清掃費	230,000		230,000	0	230,000	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	
機械警備費	0		0	0	0	
設備保全費	544,000	0	544,000	0	544,000	
空調衛生設備保守	22,000		22,000	0	22,000	
消防設備保守	72,000		72,000	0	72,000	
電気設備保守	160,000		160,000	0	160,000	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	0	30,000	
駐車場設備保全費	70,000		70,000	0	70,000	
その他保全費	190,000		190,000	0	190,000	
共益費			0		0	
その他	967,029		967,029	0	967,029	
公租公課	753,520	0	753,520	0	753,520	
事業所税	0		0		0	
消費税	753,520		753,520	0	753,520	
印紙税	0		0		0	
その他()	0		0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	18,217,725	0	18,217,725	0	18,217,725	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 「南希望ヶ丘地域CP 包括・介護予防・生活支援」 収支予算書及び報告書 (特別会計)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料 (包括)	23,237,802		23,237,802		23,237,802	横浜市より
指定管理料 (介護予防)	147,100		147,100		147,100	横浜市より
指定管理料 (生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入	1,156,000		1,156,000		1,156,000	介護保険収入等充当分
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入			0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 ()			0		0	
その他 ()			0		0	
収入合計	30,329,902	0	30,329,902	0	30,329,902	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,821,000	0	26,821,000	0	26,821,000	
本俸	16,176,000		16,176,000		16,176,000	
社会保険料	3,387,000		3,387,000		3,387,000	
手当計	3,987,000		3,987,000		3,987,000	
健康診断費	114,000		114,000		114,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	235,000		235,000		235,000	
その他	2,922,000		2,922,000		2,922,000	
事務費	1,234,286	0	1,234,286	0	1,234,286	
旅費	15,000		15,000		15,000	
消耗品費	150,000		150,000		150,000	
会議ठीい費	0		0		0	
印刷製本費	29,000		29,000		29,000	
通信費	51,000		51,000		51,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	65,000		65,000		65,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	150,000		150,000		150,000	
振込手数料	6,000		6,000		6,000	
リース料	750,000		750,000		750,000	
手数料	10,000		10,000		10,000	
地域協力費	0		0		0	
その他	8,286		8,286		8,286	
事業費	1,178,672	0	1,178,672	0	1,178,672	
協力医	630,000		630,000		630,000	指定額
介護予防事業	147,100		147,100		147,100	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000		309,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	92,572		92,572		92,572	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	1,095,944	0	1,095,944	0	1,095,944	
建築物・建築設備点検	60,686		60,686		60,686	指定額
光熱水費	490,000	0	490,000	0	490,000	
電気料金	400,000		400,000		400,000	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	90,000		90,000		90,000	
清掃費	230,000		230,000		230,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	
機械整備費	0		0		0	
設備保全費	186,000	0	186,000	0	186,000	
空調衛生設備保守	30,000		30,000		30,000	
消防設備保守	40,000		40,000		40,000	
電気設備保守	63,000		63,000		63,000	
害虫駆除清掃保守	14,000		14,000		14,000	
駐車場設備保全費	39,000		39,000		39,000	
その他保全費	0		0		0	
共益費	0		0		0	
その他	3,258		3,258		3,258	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他 ()	0		0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	30,329,902	0	30,329,902	0	30,329,902	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
Dandy Kitchen ～ふれあい子ども食堂～	主に小学生	233,160	164,160	66,000	3,000	190,000	40,160
	60人						
	100円						
歌声喫茶	地域住民	106,540	5,040	101,500	93,540	5,000	8,000
	80人						
	100円						
ふらっとサロン	地域住民	144,000	60,000	84,000	0	132,000	12,000
	15人						
	200円程度						
ゆったり体操教室	高齢者	146,504	2,504	144,000	133,064	0	13,440
	15人						
	400円						
子育てサロンmam-mam	0歳児～未就園児	19,720	7,720	12,000	2,000	1,000	16,720
	10組						
	100円						
男性のお菓子教室 ダンディパティシエ	地域の男性	43,360	10,360	33,000	12,000	24,000	7,360
	8人						
	600円						
登録団体説明会	登録団体	0	0	0	0	0	0
	50人						
	無料						
ボランティアの集い	ボランティア	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	20人						
	無料						
年末みんなで大掃除会	登録団体	3,840	3,840	0	0	3,000	840
	30人						
	無料						
ケアプラザ祭り	地域住民	103,300	43,300	60,000	5,000	92,000	6,300
	200人						
	200円程度						
よこはまシニアボランティア ポイント登録研修会	65歳以上	0	0	0	0	0	0
	10人						
	無料						
きぼうファーム (参加収入・収支は きぼうファームで管理)	障がい児者	0	0	0	0	0	0
	10人						
	300円						
介護予防でスタンプラリー (年13回)	高齢者	103,560	103,560	0	87,000	12,640	3,920
	410人						
	無料						
レクリエーション習得講座 (年4回)	高齢者	44,800	44,800	0	40,000	2,000	2,800
	100人						
	無料						
ミ・ディ 月1回(年11回)	高齢者	52,000	14,600	37,400	2,000	43,700	6,300
	187人						
	200円						

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
シニアサポーターひまわり 年11回	地域住民	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	77人						
	無料						
介護者の集い 2か月1回(年6回)	地域住民	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	54人						
	無料						
「地域ケアプラザとは」講座 年1回	地域住民	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	30人						
	無料						
古い支度シリーズ 年2回	地域住民	15,000	15,000	0	15,000	0	0
	50人						
	無料						
消費者生活講座 不定期	地域住民	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	150人						
	無料						
認知症について考える2017 年1回	地域住民	33,342	33,342	0	32,299	1,043	0
	50人						
	無料						
成年後見制度講座 年1回	地域住民	5,000	5,000	0	5,000	0	0
	15人						
	無料						
認知症サポーター養成講座 年3回	地域住民、小学生	2,000	2,000	0	0	2,000	0
	90人						
	無料						
旭区エンディングノート講座 年3回	地域住民	5,000	5,000	0	5,000	0	0
	60人						
	無料						
きぼうタウンプロジェクト 年22回	地域住民	40,000	40,000	0	10,000	25,000	5,000
	20人						
	無料						
老人会・元気づくり ステーション連絡会 年4回	地域住民	6,500	6,500	0	0	5,000	1,500
	30人						
	無料						
スクエアステップリーダー 講座 年4回	地域住民	90,060	44,060	46,000	32,400	48,000	9,660
	23人						
	2000円						
スクエアステップリーダー 年12回	地域住民	20,000	20,000	0	10,000	5,000	5,000
	10人						
	無料						
ミュージックボランティア 講座 年3回	地域住民	17,404	17,404	0	16,704	0	700
	20人						
	無料						
ミュージックボランティア(仮) 年12回	地域住民	32,000	32,000	0	10,000	20,000	2,000
	10人						
	無料						

平成29年度 自主事業計画書

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
Dandy Kitchen ふれあい子ども 食堂	主に小学生を対象に、子どもの居場所支援と孤食支援、地域の大人との顔の見える関係づくりを目的に開催します。またボランティア活動の支援を行います。16時から17時30分までは、フリータイムとし、地域のボランティアによる学習支援や、学校や年齢を超えた子どもたちの交流の支援を行います。17時30分より食事の提供を行います。夏休みなどの長期休暇時は、昼間に開催し、自由研究などの宿題のお手伝いを行います。	奇数月第2木曜日 16時～ 18時30分 長期休暇時 10時～17時 年間9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声喫茶	地域住民（主に中高年）を対象に、歌を歌うことでの健康増進を目的として開催します。参加者に事業の準備や片づけを呼びかけ、参加者皆で会を運営していただけるよう事業を進めていきます。	第1土曜日 10時～12時 年間12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふらっとサロン	地域住民の交流の場の提供と、ボランティア活動の場を提供する目的で開催します。ケアプラザ新聞やチラシ等で周知を行います。第2日曜日は、午前中に男性のお菓子教室を開催し、参加者にお菓子作りと、サロンでのボランティア活動をしていただきます。第4日曜日は、午前中に開催しているマーガレットケーキ教室にお菓子の提供とサロンでのボランティア活動をしていただきます。	第2第4日曜日 13時～ 15時30分 年間24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆったり体操 教室	既存の体操教室に参加が難しい高齢者を対象に介護予防を目的とした体操教室を開催します。イスに座って、セラバンドやゴムボールを使用した体操を60分、カードや輪投げなどのレクリエーションやゲームを30分を行います。	第2第4水曜日 10時～ 11時30分 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロン mam-mam	0歳児から未就園児の親子を対象に親子交流サロンを開催します。前半はフリースペースとして、後半はママのヨガ教室を開催します。季節に応じたイベントや行政との共催事業なども行います。また地域の子育て経験者にボランティアを呼びかけ、活動の場の提供を行います。	第1木曜日 10時～ 11時30分 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性のお菓子教室 ダンディ パティシエ	定年退職後の男性の仲間づくりと、地域活動の参加のきっかけづくりを目的に開催します。季節のお菓子作りを行います。ふらっとサロンの前に開催し、サロンのお菓子の製作の他、サロン運営のボランティア活動も行います。	偶数月 第2日曜日 年6回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体説明会	ケアプラザを利用されている団体向けに、貸室の申込みや利用方法、緊急時避難経路について説明を行います。また会の最後には、日ごろ利用されている皆さんからご意見を伺う時間を設けます。	3月26日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアの集い	ケアプラザで活動をされているボランティアを対象に、ボランティア同士の交流の場の提供と、情報交換や意見交換を行います。またデイサービスや生活支援コーディネーター、地域包括支援センターの職員にも参加してもらい、ボランティアとの交流を図ります。	3月29日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
年末みんなで大掃除会	2階交流スペースを利用されている団体に案内をして、福祉保健活動の一環として使用している部屋の清掃をしていただきます。また清掃終了後に意見交換会を行い、利用についての意見交換が出来る場を作ります。	12月28日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ祭り	日ごろの感謝の気持ちを込めて、地域住民との交流の場として開催します。子ども向けのコーナー、飲食販売コーナー、障害事業所の販売コーナー、ステージ発表等を設けます。ボランティア活動の場の提供も行います。	10月28日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	65歳以上の方を対象に、よこはまボランティアポイントの登録研修会を実施します。ケアプラザ自主事業でボランティア活動を始め方のほか、地域の一般の方にもケアプラザ新聞を通じて周知を行い、ボランティア活動や地域活動の参加のきっかけづくりを行います。	6月5日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きぼうファーム	希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会、第3期地域福祉保健計画の取り組みの一環として実施します。『きぼうファーム』を通じて、障害児者やご家族と交流を図り、顔の見える関係づくりや相互理解を深めることを目的として開催します。障害児者余暇支援事業、保護者交流会、障害理解・啓発事業を開催し、地域主体で活動していただけるよう後方支援を行います。	年7回程度

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防でスタン普拉リー	平成29年度の介護予防教室は、ケアプラザまで足を運ぶことが難しい高齢者が多いという声に応え、老人会を回りロコモ予防教室を開催します。老人会では体操・栄養改善・口腔機能向上のいずれかを開催するとともに、ケアプラザで開催する教室を含め、3項目の教室を受講していただいた方には、3月に表彰する予定です。	年13回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レクリエーション習得講座	ボランティアのスキルアップおよび、新しいボランティア発掘を兼ねて講座を開催します。ボランティアを行うに当たってのスキルアップだけではなく、介護予防に繋がる運動も盛り込んでいきたいと考えています。	年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きぼうタウンプロジェクト	昨年度「認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して」で話しあってきた、認知症の方やその家族に対し地域で出来る事を実現させるため、参加者から有志を募り、プロジェクトチームを発足しました。協議体として話し合いを重ね、認知症カフェや地域への認知症についての知識の啓発、認知症の方や家族へのサポートシステムなどの立ち上げを目指します。まずは認知症カフェをエリア内に2か所立上げ、9月より各月1回の開催を目指し、地域の皆さんと話し合いを重ねていきます。	4月19日（水） 5月17日（水） 6月14日（水） 7月、8月 開設後も必要に応じ開催 回数未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
老人会・元気づくりステーション連絡会	日頃より地域の方が主体となって活動している老人会や元気づくりステーション。それぞれ活発に活動をしているが、担い手不足や参加人数の減少、参加者の高齢化など様々な課題を抱えています。また、同じ連合内での老人会の繋がりはあるが、他連合との繋がりが元気づくりステーションとの繋がりが薄いところがあります。高齢者が集まる場の維持と活動の支援、またインフォーマルサービスの充実を目的として連絡会を開催します。1回目はお互いの活動を知ってもらうため自己紹介とグループワークでの課題解決のヒントを探っていきます。	4月24日（月） 6月27日（火） 9月 1月 年4回予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スクエアステップリーダー（講座）	高齢者の社会参加による介護予防の推進を図れるよう地域の共助を高め、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを目指し、元気づくりステーションなどで行っているスクエアステップを地域に広める担い手として元気づくりステーションの会員や一般の方からリーダーを養成するための講座を3月より開催（全5回）しました。講座終了後は、参加者の中から有志を募り、ボランティアとして自身の介護予防、生きがいを、介護予防を地域に広げる担い手として活動の場を地域の皆さんとともに作っていきます。また、65歳以上の方にはシニアボランティアポイント登録研修会に参加してもらい、自身のやりがいとなるよう支援していきます。	講座 4月3, 17日（月） 5月8, 22日（月） 年4回 ミーティング 6月19日（月） 第1回ボラ活動 7月13日（木） 回数未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミュージックボランティア（講座）	地域の中には楽器を演奏したり、歌が大好きだったり、音楽を好む方が意外とたくさんいます。そんな方が地域の集まりの場や、高齢者の集いの場などで歌の伴奏をしたり、一緒に歌ったりと活躍できる場所を増やし、参加者の方も楽しい時間を共有できるような音楽ボランティアグループを皆さんと共に作っていきます。音楽療法士などを講師に迎え音楽が与える効果を体験してもらい、今後の活動に活かしてもらいます。講座終了後、参加者の中から有志を募り、音楽ボランティアグループを立ち上げます。また、65歳以上の方にはシニアボランティアポイント登録研修会に参加してもらい、自身のやりがいとなるよう支援していきます。	講座 4月12, 26日（水） 5月17日（水） 年3回 ミーティング 5月31日（水） 回数未定

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミ・デイ	月に1回の事業に参加することにより、高齢者の方の閉じこもりを防止し、仲間づくりの場所として提供していきます。また、ハンドベルや歌、工作による手作業、脳トレや体を軽く動かすミニ運動会など、介護予防の要素も盛り込んでいきます。4月にはお花見と外食を兼ね、市の緑化フェアで話題の「里山ガーデン」散策も今年度は企画し、毎回、お茶とお菓子を楽しみながら交流を深めていきます。	第2月曜日 10時～11時半 月1回（年11回） 参加費 200円
事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い	地域の介護者を対象に、施設協力医大竹先生からのアドバイスも頂きながら、参加される方同士の情報交換や交流、気分転換を図る場を提供していきます。介護に役立つ情報なども提供し、日頃の介護の悩みや疲れを共有していける場となることを目指します。	第2水曜日 14時～15時半 奇数月（年6回） 参加費 無料
事業名	目的・内容	実施時期・回数
「地域ケアプラザとは」講座	地域ケアプラザの機能や役割、また身近な介護・保健福祉に関する窓口であることを、地域住民に対し、広く周知させることを目的とします。まだまだ遠いエリアの方々には、地域ケアプラザの存在について浸透していない現状があり、そちらのエリアに出張して講座を計画、啓蒙していきます。	10月実施予定
事業名	目的・内容	実施時期・回数
古い支度シリーズ	「古い支度」について、2回にわたり地域住民を対象に普及啓発を行います。1回目は「自分史活用」と題して、今までの人生を振り返っていきます。2回目は「住まい」をテーマに、居宅サービスや施設サービス、有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅についても学んでいきます。	6月、11月 年2回 参加費 無料
事業名	目的・内容	実施時期・回数
消費者生活講座	地域住民、特に高齢者を対象に近年著しく増えている振り込め詐欺などの悪徳商法の手口や見分け方、早期発見や解決のポイント、クーリングオフのやり方など、わかりやすく周知し、地域住民や高齢者の消費者被害に対する意識付けを図ります。今回は老人会を訪問して開催していきます。	不定期 老人会開催時 参加費 無料
事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症について考える2017	認知症についていろいろな角度から理解を深めてもらうため、「認知症予防講演会」と「認知症サポーター養成講座」を同時に開催し、「認知症になっても安心して暮らせる街」をテーマに、認知症の症状、早期発見の大切さ、認知症の方に対する声のかけ方や成年後見制度のしくみ、具体的な活用法など、認知症について広い視野で考えていきます。	12月 年1回 参加費 無料

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度講座	地域住民を対象に、年齢を重ねても安心して暮らしていけるよう、成年後見制度の普及啓発を行います。権利擁護、成年後見制度の基礎知識、成年後見人としての実務など、わかりやすく解説します。また、あんしんセンターの利用法などの内容などをもちこんだ講座を開催します。	1月 年1回 参加費 無料

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	認知症の方が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、認知症の方や家族の理解者となる認知症サポーターを養成することを目的とし、認知症についてや認知症の方への接し方などを普及啓発していきます。講座は小学生対象のものと地域住民対象のものを開催し、参加者にはオレンジリングを配布します。地域住民対象の講座では認知症キャラバンメイト（旭区ひまわりの会）の方からお話をさせていただきます。	5月、12月 (地域住民対象) 8月 (小学生対象) 年3回 参加費 無料

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭区エンディングノート講座	地域住民を対象に、将来の自分に、家族に安心した、一人ひとりの生活の質の維持・向上を目指し、豊かな生活を送るためのみちしるべとなる普及啓発を行います。介護が必要になったとき、介護保険の説明、成年後見制度の基礎知識、相続、死後事務委任など、終活についてなどの内容をもりこんだ講座を開催します。	2月、3月 年3回 (3回シリーズ) 参加費 無料

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域介護予防活動支援事業シニアサポーターひまわり	地域活動の介護予防ボランティアとして、活動できるスキルを学んでもらうことで、自分たちのいきがづくりや地域の担い手になっていく気持ちを育てていきます。地域づくり型事業「元気づくりステーション」の支援を引き続き行いつつ、自分たちでできる介護予防普及啓発活動を身につけていけるよう促していきます。今年度は、ふらっとサロンなどで手芸や手話、体操などを行い介護予防の普及啓発活動を実施していきます。	第3木曜日 10時～11時半 月1回（年11回） 参加費 無料